

移植医療とAI

2023年1月27日(金) 19:00～20:30

開催アプリ：Microsoft Teams

対象：造血細胞移植医

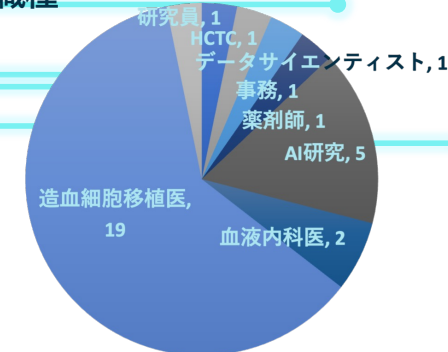
造血幹細胞移植推進拠点病院の事業の一環として、南関東・甲信越ブロックにおけるセミナー開催等の地域連携に取り組んでおります。

2023年1月27日に、造血幹細胞移植医を対象に、造血幹細胞移植領域のAI医療の現状、AI研究のアイデアにおける基礎を学んでいただける勉強会を開催し、31名の参加をいただきました。

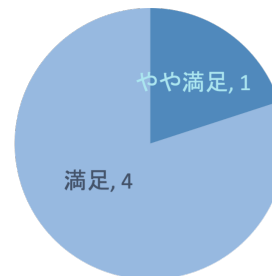
プログラム

- 19:00～19:05 開会の挨拶
鬼塚真仁
東海大学血液・腫瘍内科学
- 19:05～19:30 AIは移植成績を変えられるか？
瀬尾幸子
獨協医科大学 内科学（血液・腫瘍）
- 19:30～20:15 臨床現場におけるAIの活用；
成功するプロジェクトの秘訣！
朝倉敬喜
東北大学医学系研究科 分子病態治療学分野
- 20:15～20:25 Q&A
- 20:25～20:30 閉会の挨拶
鬼塚真仁
東海大学血液・腫瘍内科学

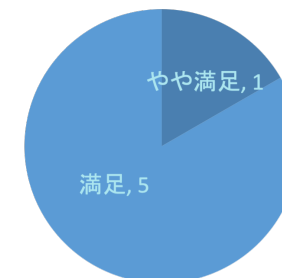
1.参加者 職種



2.講演1：AIは移植成績を変えられるか？



3.講演2：臨床現場におけるAIの活用； 成功するプロジェクトの秘訣！



4.その他、ご意見等をお聞かせください

- 講演1は途中からなので、評価は保留にしています。とても勉強になりました。
- 勉強になりました。貴重な講演をありがとうございました。
- 造血幹細胞移植領域におけるAI利用の現状がよくわかりました。予測モデルだけでなく治療支援への応用方法もわかり、そのうち免疫抑制剤の投与量の調整もAIが指南してくれる日がくるようなイメージがもてました。
- 現状AIは万能ではないということがよくわかり、専門科と連携して進めていく必要性が理解できました。またこのような企画をしていただけることを切に願います。
- 興味のあるテーマでしたので聴講させていただきました。「AIは、非専門医を超えることはできそう」というお話が印象に残りました。

参加者：31名、アンケート回答者：6名